

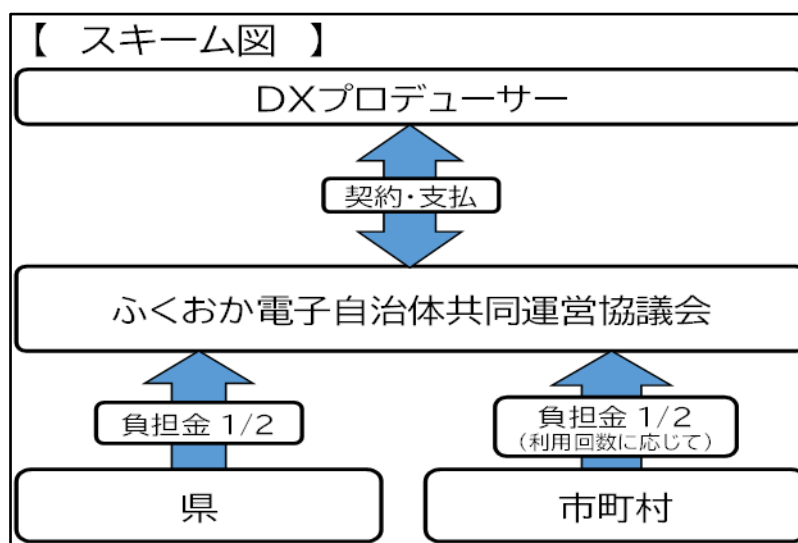
令和 5 年 10 月 26 日
情報政策課デジタル戦略推進室

市町村のデジタル化等の支援について

県と市町村が外部の専門知識を活用しながら主体的に行政および地域のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進できる支援体制を構築し、ノウハウを蓄積させることで人材を育成し、継続的なDXの推進を図ることを目的として以下の事業を実施している。

1 DXプロデューサー事業について

- 市町村のデジタル化推進を支援するため、県が確保した「DXプロデューサー（外部専門人材）」の共有体制を構築した。
- 職員向け・幹部向け等広く研修会を行う「全体支援」、希望する市町村にDXプロデューサーを派遣する「個別支援」を実施している。
- 個別支援については、標準化対応・組織体制強化・DX推進等、複数の支援メニューを設定。市町村とプロデューサーをマッチングし、1メニューあたり6回程度を目安に派遣（派遣に要する費用の半額を県が負担）。市町村における課題整理や方針検討を支援している。



2 ローカルスマートシティについて

- 「福岡県 DX 戦略」（令和4年3月）では、人的資源が不足している市町村において、デジタル技術を活用することで、地域の個性を活かしながら活性化し、持続可能な社会を築くことを目指す「ローカルスマートシティ」を推進することとしている。
- この構想の実現のため、昨年度、県と市町村による「ローカルスマートシティ構想会議」を設置した。
- 同会議において、デジタル技術を用いて解決を目指す地域課題を抽出し、その課題への対応策をパイロットプロジェクトとして位置付けて取組を推進している。
- 同会議における情報共有などを通じて、取組の横展開を図っている。

